

| 先進的あるいは特色ある教育課程 | 学校名等 | 課程 |
|------------------------------------|------------------|------------------|
| 「アントレプレナーシップ（起業家精神）を育む学びに関する取組と課題」 | 千葉県立 千葉商業高等学校 | 全日制 商業科・情報処理科 |

ア 取組状況について

① 教育課程

(学校及びコース)

- ・入学はくくり募集を採用し、1年生全員が共通の教育課程
- ・2～3年生は2学科6コースの教育課程 ※中途の学科、コースの変更はない
- ・商業科 4コース（会計、情報、アントレプレナーシップ、グローバルビジネス）
令和4年度第1次実施プログラムにてアントレプレナーシップ・コースを設置
- ・情報処理科 2コース（システム開発、ビジネス情報）

(教育課程編成)

- ・総合的な探究の時間 各学年1単位
- ・課題研究 3年生2単位
- ・アントレプレナーシップ 3年生3単位(令和8年度より商業科の学校設定科目として展開)

(授業展開)

- ・授業と連動して取得を奨励している資格
 - ・1年生 全商情報処理検定2級、全商簿記実務検定2級
 - ・2年生 全商情報処理検定1級、全商簿記実務検定1級
- ・総合的な探究の時間でアントレプレナーシップの内容を取り入れている
 - ・令和6年度実績 1年生：6時間、2年生：10時間、3年生11時間
- ・課題研究でアントレプレナーシップを課題に設定する生徒がいる

② 教員の指導力向上

(教員研修)

- ・千葉県高等学校教育研究会商業部会が主催する研修

(外部人材の活用)

- ・千葉大学との連携（学術研究・イノベーション推進機構）
千葉大学が開発した起業家育成プログラムを企業教育研究会などの関係機関と連携して、本校生徒を対象に総合的な探究時間を活用して実施
- ・拓匠開発 千葉公園を題材としたビジネスモデルの開発に講師として参加
- ・千葉県商工労働部 アントレプレナーシップ講座の開催を支援

③ 校内組織

- ・教育課程検討委員会 学校設定科目「アントレプレナーシップ」の設置を検討
- ・アントレプレナーシップ準備委員会 「アントレプレナーシップ」の学習内容を検討
- ・総合的な学習検討委員会 アントレプレナーシップの醸成を目的に学習内容を検討

④ 施設設備 アントレプレナーシップ教育の展開に影響が大きい ICT 環境を整備

- ・令和4年度からBYODによるICT教育を展開する 令和2年にスタディサプリを導入
- ・GIGAスクール事業を採用し、Wi-Fi環境を整備、プロジェクターを全教室に配備

⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法

- ・千葉県高等学校教育研究会商業部会における研究協議会

⑥ その他

- ・育成する人材は、新たなビジネスモデルに失敗を恐れず果敢に挑戦する気質を持つ人材
- ・体系的学び～1～2年生は知識とスキルの習得、3年生でビジネスモデルの開発

⑦ ①～④でポイントになった事（優位順に箇条書き3つまで）

- ・教育課程の編成において、総合的な探究時間と課題研究で継承した学びを実践
- ・外部人材の活用において千葉大学との連携 ・ICT環境の整備とBYODの導入

イ 今後の課題

- ・学校設定科目「アントレプレナーシップ」の円滑な展開